

要 望 書

(令和3年1月19日)

自由民主党愛知県議員団
県土整備促進議員連盟

要 望 書

本県は、日本の成長をリードする産業集積地であり、国際競争力強化に資する社会資本の整備を、ますます加速していくことが大変重要であります。

また、本県には、国内最大のゼロメートル地帯を始めとする低平地や土砂災害の危険が多く存在する山地丘陵があり、さまざまな自然災害に対する脆弱性を抱えております。

全国的には、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、そして記憶にも新しい、九州地方を中心に広い範囲を襲った今年7月の豪雨と、毎年のように大雨や地震による大規模な災害が発生しており、多発する自然の猛威を目の当たりにし、県民の不安はますます高まっております。

こうした中、自然災害から県民の生命・財産を守るためにも、ハード対策に加えてソフト対策も効果的に組み合わせいき、防災・減災、国土強靱化をしっかりと推進する必要があります。

一方、戦後の復興期から高度成長期にかけて集中的に整備された社会インフラが、耐用年数を迎えつつあることから、その対応が課題となっております。こうしたインフラの機能を引き続き健全に保つためには、施設の状態を的確に把握し、計画的な維持管理・更新に取り組む必要があります。

このように、本県の経済力や防災・減災力が強く求められている今こそ、社会基盤の整備や適切な維持管理に積極的な財源投入を図るべきであります。

令和3年度の予算編成に当たっては、県民の安全・安心を

早期に確保し、県内の経済発展の促進を図るため、下記事項の実現に向けて特段の措置が講じられるよう強く要望します。

記

(道路関連)

- 1 道路ネットワークの充実及び道路交通環境の整備
- 2 効率的な物流を支えるとともに、災害時にも機能する広域幹線道路ネットワークの構築を図るため、三遠南信自動車道、名豊道路の早期全線開通や、西知多道路の事業中区間の整備推進と未事業化区間の早期事業化
- 3 名岐道路や浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の早期実現に向けた国による調査推進及び、名古屋都市圏環状機能強化に資する一宮西港道路と名古屋三河道路の計画の早期具体化
- 4 激甚化・頻発化する災害に対応し、安全・安心を確保するため、ミッシングリンクの解消やダブルネットワークの構築、橋梁の耐震化などの防災対策、無電柱化及び道路施設の老朽化対策の推進
- 5 日常の道路の維持管理に加えて、事故危険箇所などの交通安全対策を推進
- 6 長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、必要となる予算の確保

(河川・砂防関連)

- 1 「流域治水」の考え方に基づく事前防災対策の推進
- 2 洪水、高潮、地震・津波、土砂災害におけるハード・ソフト対策の強化
- 3 河川改修の推進（多自然川づくりの継続実施）、河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理の充実に必要とな

る予算の確保

- 4 河川・海岸堤防等の耐震化及び高潮対策の推進に必要な予算の確保
- 5 土砂災害対策の推進及び施設の長寿命化対策や維持管理の充実に必要となる予算の確保

(港湾関連)

- 1 港湾物流ビジョンに基づく、港湾の国際競争力の強化に資するふ頭及び臨港道路の整備
- 2 港湾・海岸施設の耐震化等防災対策の推進に必要な予算の確保
- 3 港湾環境整備による交流拠点の充実に必要となる予算の確保
- 4 港湾維持管理に必要な予算の確保
- 5 三河港港湾計画の改訂の推進

(下水道関連)

- 1 流域下水道の整備及び計画的な長寿命化対策の推進に必要な予算の確保
- 2 下水道施設の地震対策の推進に必要な予算の確保
- 3 下水道資源のエネルギー利用の推進

愛知県知事

大 村 秀 章 殿

自由民主党愛知県議員団

県土整備促進議員連盟

会 長 久保田 浩文

自由民主党愛知県議員団県土整備促進議員連盟名簿

令和2年6月17日現在

会 長	久保田 浩 文		
顧 問	直 江 弘 文	水 野 富 夫	
副 会 長	横 井 五 六 (河川・砂防部会長)	伊 藤 勝 人 (道路部会長)	
	杉 浦 孝 成 (港湾部会長)	石 塚 吾 歩 路 (下水道部会長)	
幹 事	神 野 博 史	神 戸 洋 美	
	森 下 利 久	飛 田 常 年 (道路副部会長)	
	近 藤 裕 人 (河川・砂防副部会長)	山 本 浩 史 (港湾副部会長)	
	中 根 義 高 (下水道副部会長)		
会 計	原 よしのぶ		
監 事	中 野 治 美		
事務局長	坂 田 憲 治 (兼幹事)		
会 員	峰 野 修	石 井 芳 樹	青 山 省 三
	佐 藤 一 志	堀 寄 純 一	高 桑 敏 直
	島 倉 誠	山 下 智 也	藤 原 宏 樹
	新 海 正 春	神 戸 健 太 郎	野 中 泰 志
	石 井 拓	丹 羽 洋 章	山 田 たかお
	今 井 隆 喜	鈴 木 雅 博	佐 藤 英 俊
	神 谷 和 利	村 瀬 正 臣	杉 江 繁 樹
	平 松 利 英	日 高 章	杉 浦 正 和
	中 村 竜 彦	朝 日 将 貴	

(43名)

○広域幹線道路ネットワークの構築

名岐道路

至 岐阜市
至 名古屋市

優先整備区間

一宮稲沢北 IC
2020 年度開通予定

名古屋環状 2 号線
2020 年度開通予定

岐阜県

リニア中央新幹線

中央自動車道

優先整備区間

白鳥自動車環状道

三遠南信自動車道

名豊道路(蒲郡バイパス)

浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)

三遠南信自動車道

三遠 1 号トンネル(仮称)
(新城市側)

西知多道路

至 大阪
至 名古屋市内

伊勢湾岸自動車道

西知多道路

国施行区間(事業中): 東海ジャンクション

名豊道路(蒲郡バイパス)

浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)

新城市

三ヶ日JCT

豊橋市

豊川市

案1 西側ルート

案2 東側ルート

案3 国道23号拡幅ルート

三河港

湖西市

田原市

効率的な物流を支え、災害時にも機能するとともに、
リニアインパクトを広く波及させる広域幹線道路ネットワークの構築

○道路整備の推進



一般国道 247 号 (衣浦大橋)



(都)北尾張中央道 (一般国道 155 号春日井バイパス)



主要地方道名古屋津島線 (七宝工区)



一般国道 257 号 (清崎・田口工区)

○ 道路の安全・安心の確保

- きめ細かな日常管理によって道路の安全を確保

【維持補修工事(街路樹剪定工)】



街路樹が繁茂し、通行の支障となるため、定期的に剪定を実施

【舗装補修作業状況】



道路パトロール等で発見した路面損傷の速やかな補修の実施

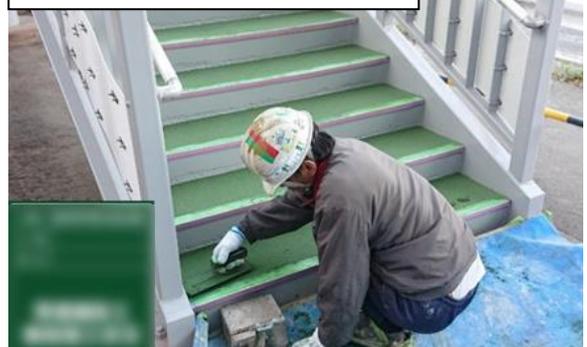
- 高齢化する道路施設の継続的な点検とその結果に基づく修繕の実施

【橋りょう修繕施工状況】



点検で発見された異常箇所の速やかな修繕の実施

【横断歩道橋修繕施工状況】



点検で発見された異常箇所の速やかな修繕の実施

- 地震など災害時における道路施設の防災対策の推進

【耐震補強工事】



コンクリート巻立てによる橋脚の耐震化

【落石防止施設工事】



落石等危険箇所の解消のため、法面補強工や落石防止施設の設置を実施

- 事故危険箇所などの交通安全対策の推進

【幹線道路の交通事故対策】



事故危険箇所における速効対策(カラー舗装)

【生活道路の交通安全対策】



通学路における交差点改良(歩道拡幅・右折帯設置)

○ 河川改修の推進及び河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理の充実

日光川水閘門改築事業

新日光川水閘門(飛島村)



海部地域の防災の要である日光川水閘門の整備状況

(老朽化・大規模地震・高潮・洪水への対策の為 H21 より改築工事に着手、新水閘門 H30.3 完成、現在旧水閘門撤去中)

河川改修

一級河川中江川 調整池(小牧市)



二級河川天白川(名古屋市)



二級河川柳生川(豊橋市)



狭さく部付近の洪水流下概要図

多自然川づくりの継続実施

一級河川新郷瀬川(犬山市)



自然な河岸や濬筋を形成できるような整備を行なうことで、瀬や淵が生まれ水際植生が復元。

○河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理

河川・海岸施設の長寿命化対策

老朽化した施設について、長寿命化計画を策定し予防保全型の維持管理を行い、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。

南知多海岸（南知多町）



河川の浚渫、河川内の伐木

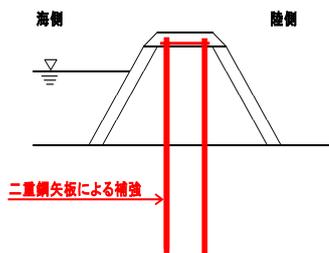
土砂の堆積や樹木の繁茂により流水の阻害が著しいと判断される箇所については、浚渫や伐木を行う。

一級河川 新郷瀬川（犬山市）



○河川・海岸堤防等の耐震化及び高潮対策の推進

豊橋海岸 杉山地区（豊橋市）



堤防に鋼矢板を設置すること等により、地震時の液状化による堤防沈下を抑制し、浸水被害の発生を防止する。また、高潮時の越水対策としての嵩上げも行う。

○土砂災害対策の推進及び施設の長寿命化対策や維持管理の充実

惣作沢 砂防えん堤工（岡崎市）



間草区域 急傾斜地崩壊防止施設修繕工（南知多町）



法枠に発生したクラックを補修

- ・砂防えん堤や法枠工などの整備により、土石流やがけ崩れなどから県民の生命・財産を守る。
- ・長寿命化計画に基づき、適切に施設の維持管理を行う。

○ソフト対策の推進

一級河川 大山川（小牧市）



洪水時の水位情報を住民に提供する危機管理型水位計の整備

土砂災害マイハザードマップの作成（豊田市）



避難行動に結びつく取り組みとして土砂災害マイハザードマップを普及

○ 港湾の国際競争力の強化に資するふ頭及び臨港道路の整備

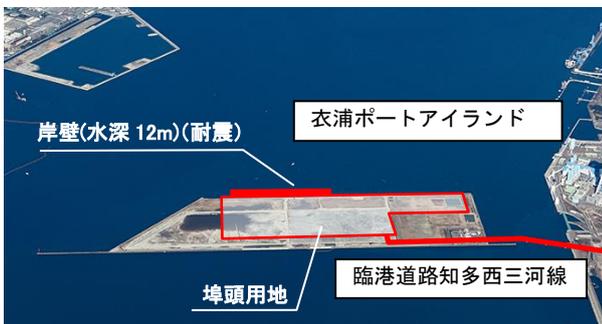
～港湾物流ビジョンに基づくサプライチェーンを強くする港湾物流機能強化策～

【名古屋港】 飛島ふ頭及び金城ふ頭



コンテナ取扱機能の強化のため飛島ふ頭、完成自動車取扱機能の強化のため金城ふ頭の再編改良事業を進める必要がある。

【衣浦港】 外港地区



衣浦ポートアイランドを物流の中核拠点として岸壁、ふ頭用地及び臨港道路知多西三河線を整備する必要がある。

【衣浦港】 中央ふ頭西



中央ふ頭西は衣浦港の物流拠点であり、岸壁の老朽化対策を早期に実施する必要がある。

【三河港】 蒲郡ふ頭



大型貨物船やクルーズ船に対応するため岸壁及びふ頭用地を早期に整備する必要がある。

【名古屋港】 新たな土砂処分場



浚渫土砂の新たな処分場を早期に整備する必要がある。

【衣浦港】 中央ふ頭西



中央ふ頭西は衣浦港の物流拠点であり、ふ頭用地を早期に整備する必要がある。

【三河港】 神野西ふ頭



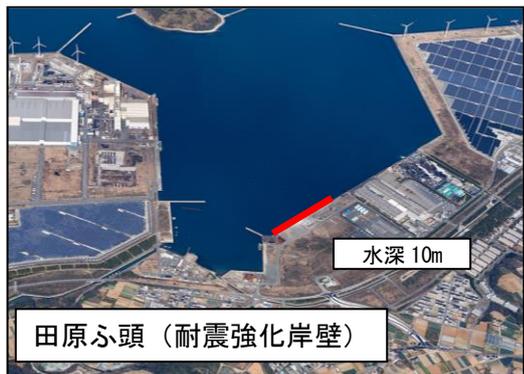
増大する完成自動車の取扱に対応するため、ふ頭用地、防波堤を早期に整備する必要がある。

【三河港】 臨港道路東三河臨海線



港の幹線道路として、ふ頭間を連絡する臨港道路東三河臨海線を早期に実現する必要がある。

○ 港湾・海岸施設の耐震化等防災対策の推進に必要な予算の確保



大規模災害時の緊急物資輸送を確保するため、耐震強化岸壁の整備を行う必要がある。
また、海岸堤防等の被災に伴う浸水や津波から背後地を守るため、海岸施設の耐震化を行う必要がある。

○ 港湾環境整備による交流拠点の充実に必要な予算の確保



地域の特性や実状を踏まえ、良好な港湾環境の形成、港湾就労者の憩いの場の形成、防災拠点の形成といった観点から、港湾緑地の整備を進める必要がある。

○ 港湾維持管理予算の確保



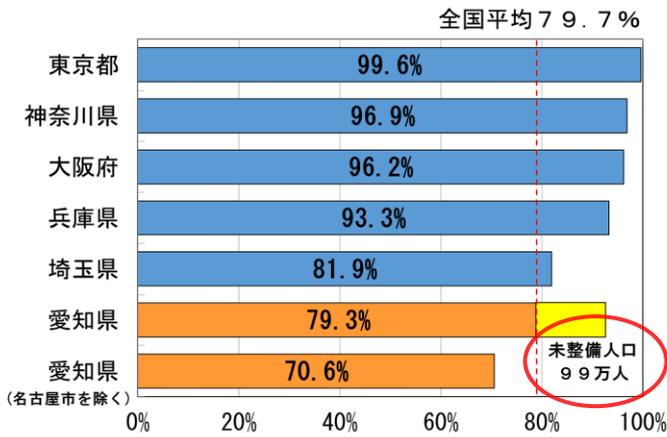
荷揚げや荷下ろしに支障をきたす恐れがあるため、修繕工事を実施する必要がある。

○ 三河港港湾計画の改訂

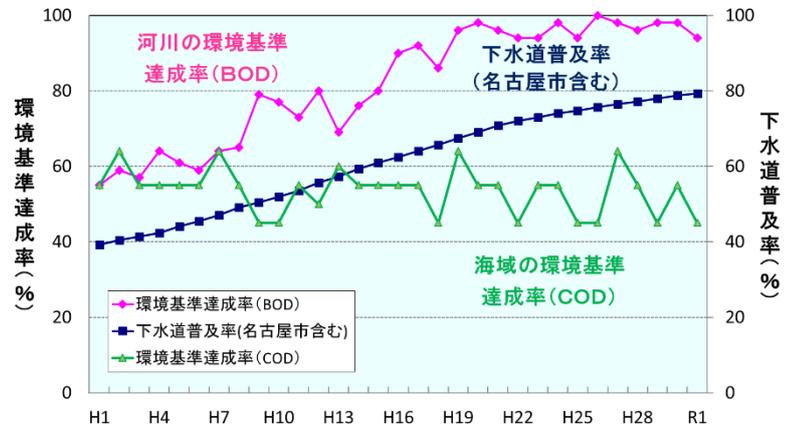
現在の三河港港湾計画は、平成 23 年に、産業を支える三河港の産業競争力を強化するとともに、「地域の持続的な発展」を推進するために、平成 30 年代前半を目標年次として改訂をしたものであるが、その後の社会情勢の変化等を踏まえ、三河港港湾計画の改訂を進める必要がある。

○ 流域下水道の整備の推進

下水道普及率の状況 (R1 年度末)



下水道普及率と環境基準達成率



愛知県の下水道整備は遅れており、引き続き整備が必要である。

- ・ 全国の未整備人口970万人のうち、約1割は愛知県の未整備人口である。
- ・ 河川の環境基準達成率がH26年度に100%となったが、海域の達成率は50%程度にとどまる。

流域下水道の整備

管きよの整備 (新川西部流域下水道)



処理場の整備 (新川東部流域下水道)



汚泥脱水機の増設工事

処理場の整備 (衣浦東部流域下水道)



水処理施設 (土木) の増設工事

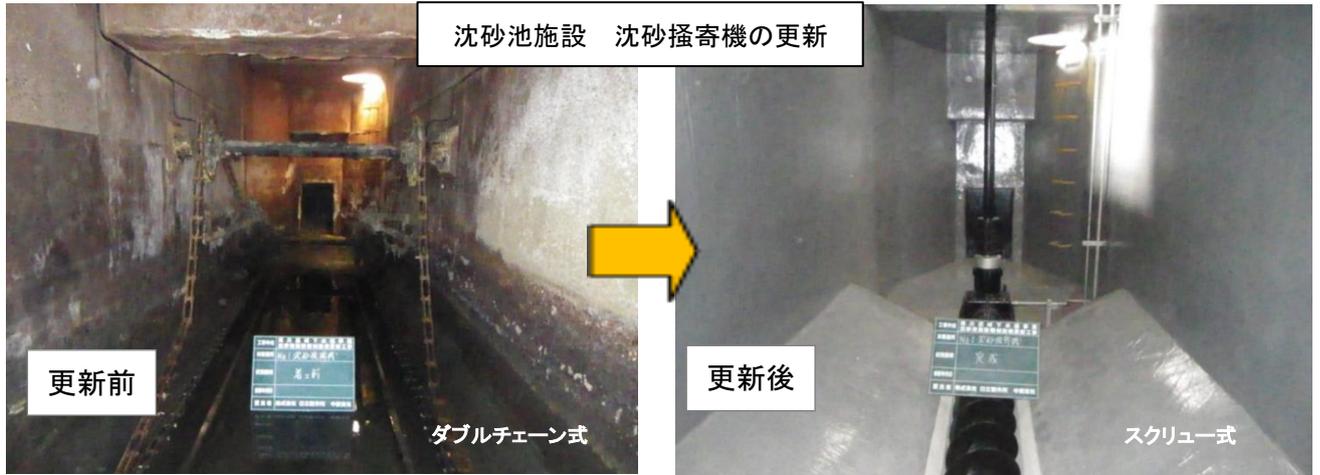
処理場の整備 (日光川下流流域下水道)



水処理施設 (機械) の増設工事

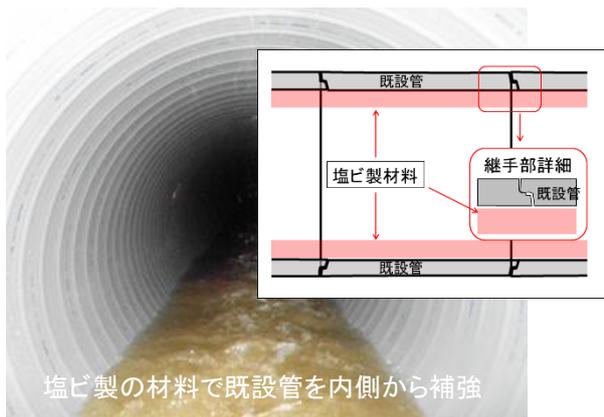
○ 計画的な長寿命化対策の推進

(境川流域下水道)



○ 下水道施設の地震対策の推進

管きよの地震対策 (豊川流域下水道)



管更生工法による管きよの耐震補強工事

自家発電設備の整備 (矢作川流域下水道)



非常時の電源確保のための自家発電設備

○ 下水道資源のエネルギー利用の推進

(矢作川流域下水道)



メタン発酵により発生するガスを利用し、
汚泥焼却炉の燃料として使用

(衣浦東部流域下水道)



脱水汚泥を炭化により燃料化し、
碧南火力発電所で石炭と混焼し利用